

こんなことがありました N02

先週号の続きです。最近の学校行事を紹介します。



10月20日(水)なかよし交流会

コロナ以前は阿蘇郡市の小中学校で集まり、交流会を開いていましたが、今年度はコロナ禍の状況を考えて中学校区というまとまりごとに行われました。本校と、白水小学校、久木野小学校、南阿蘇西小学校、合わせて4校でそれぞれの学校から活動の様子や紹介を行いました。役割分担をして、電子黒板画面に向かって本校の様子をそれぞれに発表している様子です。



10月21日(木)阿蘇郡市中体連駅伝競技大会

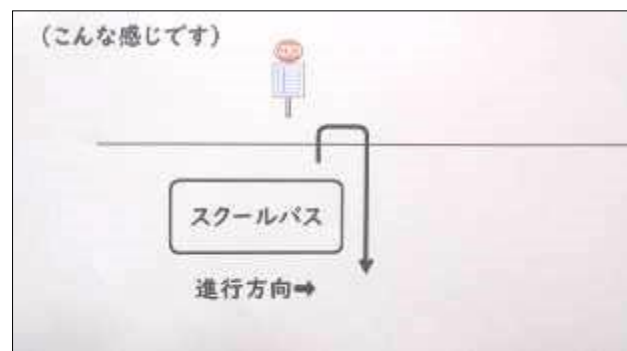
阿蘇山の中岳噴火の翌日、天候も曇時々小雨という状況で開催が心配されましたが無事実施されました。写真は女子スタート、男子スタート、女子表彰の様子です。9月末に選抜された女子12人、男子14人(陸上8人、サッカー部2人、野球部2人、剣道部4人、バレー部2人、テニス部3人、バスケ部3人、バド部1人、非所属1人)で練習を重ね、当日は女子5区間、男子6区間でたすきを繋ぎました。結果は女子47分37秒で総合3位。男子1時間11分59秒で総合6位でした。



10月28日(木)村長講話(3年生)

5時間目に体育館で行いました。3年生は高校説明会も終わり、来週から11月を迎え、希望校決定、受験と続きます。義務教育を終えて次のステージに自信を持って旅立ってほしいという吉良村長様の思いから「誇りに思ってもらいたいこと」という演題で話していただきました。たくさんのデータをもとに南阿蘇村、そしてそこで暮らしていた人々は素晴らしいという話をしていただきました。生徒の感想が楽しみです。

スクールバスのドライバーさんから

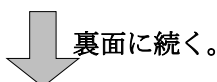


生徒の8割がスクールバスで通っていますが、次のようなことが、最近あったそうです。「送り」の際、左図のようにバスを降りてから、前を横切って道路を横断する生徒が多いそうです。スクールバスの後ろにいる自動車の運転手からすると、バスが一時停止しているので進行方向に追い越しにかかります。帰りの時間はすでに暗くなっており、大変危険です。道路から停留所の反対側に横切の場合は、必ずバスが発車して見通しが良くなったあとに横断

してください。また、来週11月1日(月)から、スクールバスの第2便の学校発車時刻が18時15分になります。よろしく対応お願いします。

スマホ・タブレットの管理について

「今や、PC端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっています。社会を生き抜く力を育み、子供たちの可能性を広げる場所である学校が、時代に取り残され、世界からも遅れた



裏面に続く。

ままではいられません。」というGIGAスクール構想に基づいて、教育委員会より1人1台のタブレットが授業で使えるようになり、家庭への持ち帰りもできるようになりました。

また、ご家庭によっては、生徒にスマホを買い与えている家庭もあると思いますが、非常に便利なために、子どもたちが欲望に負けて加害者になることが全国で起きています。そして、その被害者も出ています。下の文章は熊本県から出ている文書です。学校でも生徒に注意を呼びかけますが、各ご家庭でも、ICT機器の有用性と、危険性について話題にされてください。

令和3年度情報モラル啓発資料(No.7)

子どもたちが加害者になってしまう事案について

子どもたちのインターネットの利用をめぐるトラブルは年々増加しています。トラブルといっても、子どもたちが被害者になるケースばかりではありません。インターネットの利用によって、子どもたちが加害者になってしまう事案もたびたび発生しています。

子どもたちが加害者になってしまう事案には、どのようなものがあるのか

インターネットの利用によって、子どもたちが加害者になってしまう事案の例を3つ紹介します。

有名人のSNSに誹謗中傷を書き込む

「有名人なんだから、悪口を言われてもあたりまえ」「他の人も書いてるし、自分だっていいだろう」と考えて、有名人のSNSに軽い気持ちで誹謗中傷を書き込む人がいます。こうした書き込みは、対象の人物に大きな精神的ショックを与えます。また、過去には、有名人の誹謗中傷を書き込んでいた人が訴えられ、損害賠償を請求されたというケースもあります。



友だちのSNSのアカウントに勝手にログインし、投稿する

友だちのID・パスワードを特定して、SNSのアカウントにログインし、軽いいたずらのつもりで投稿する子どもたちがいます。しかし、他人のID・パスワードを使って、アクセス権限のないサービスにログインすることは「不正アクセス禁止法」によって禁止されており、違反した者は罪に問われてしまいます。



匿名掲示板やSNSに犯行予告を書き込む

いたずらのつもりやストレス発散のためなどに、爆破や殺人などの犯行予告を書き込む人がいます。こうした投稿が見つかったら、大勢の警察官が警戒にあたらなくてはならなくなったり、犯行の対象とされた企業や機関が通常の営業を行えなくなったりするなど、多くの人に迷惑をかけてしまいます。そのため、実際に犯行を行うかどうかにかかわらず、犯罪としてあつかわれます。

〇〇掲示板

〇〇市〇〇区★12

1名無し:2021/xx/xx

〇日の午前中、xx駅の東口を爆破します。

インターネット上の投稿はすべて、「いつ・どこで・どの機器から投稿したものか」という記録が残されているため、匿名の投稿でも投稿者の特定は可能です。



インターネット上では、軽い気持ちで行ったことで、自分が加害者になってしまうこともあります。そのことを子どもたちに理解させ、匿名であっても誹謗中傷や犯行予告などの不適切な書き込みをしないこと、他者のアカウントは絶対に使わないことを意識してインターネットを使うよう、指導していくことが大切です。